

浅野 敬の活動報告（令和7年6月号）

登米市六月定期議会において、市長の公約である（仮称）地域交流センター―白紙撤回等を盛り込んだ「令和七年度登米市一般会計補正予算（案）」に対し、3人の議員から、（仮称）地域交流センター―関連の減額予算を削除する修正動議が提出され、討論・採決の結果、賛成十五人、反対八人で、**修正案が可決**されました。

私の公約である「庁舎より病院が最優先」の立場から左記のとおり修正案に反対の討論を行いました。

令和7年度登米市一般会計補正予算原案に賛成・修正案に反対の立場から討論を行います。「令和7年度一般会計の当初予算は前市長が計上し、改選前の議会として賛成多数で決したことは重く受け止めなければならぬと思います。しかし、そもそも市長選挙を控えた新年度の当初予算は、骨格予算とするのが通例であり、それを認識しながら尚、政策的事業である（仮称）地域交流センターを計上した執行部の驕りであり、前例を重要視すべき議会も批判、牽制、監視の権能を果たせず、今回の補正予算の混乱を招いたものと私は考えています。」

合併20年の節目である今年度、登米市第二次総合計画の最終年度であり、従来の構想や計画について調査検討を重ねられ慎重審議を尽したものと存じますが、この間北海道の北見市の庁舎と図書館による財政危機が公表され、地球温暖化による線状降水帯の多発などを踏まえ、市役所の庁舎より市民の福祉を優先すべしとの民意をしつかり受け止めながら、一度立ち止まり将来の身の丈に合った登米市の未来図を描く必要があります。登米市第三次総合計画の「基本構想」「基本計画」「実施計画」の策定が進もうとしています。「市民生活第一主義」をモットーに市民の安心、安全を最優先に町づくり事業を進めるのが、行政の王道だと考えます。**市民が灯した赤信号です。**

「赤信号、みんなで渡ればこわくない」として渡り切ることはできませんが、危険です。一度立ち止まりましょう。教育上でも「赤信号を渡ってはいけません。」市民からの信頼と期待を受けて選ばれた議員の皆様一人ひとりの良識を信じ、令和7年度登米市一般会計補正予算原案に賛成、修正案に反対の討論を終わります。」

先合せ問お

東和町米谷字日面25-12

携帯 090-6258-2527

ご連絡先を明示の方へは責任をもって対応します。

浅野 敬